条幅部自由参考

1月27日正午必着

明石春浦先生書

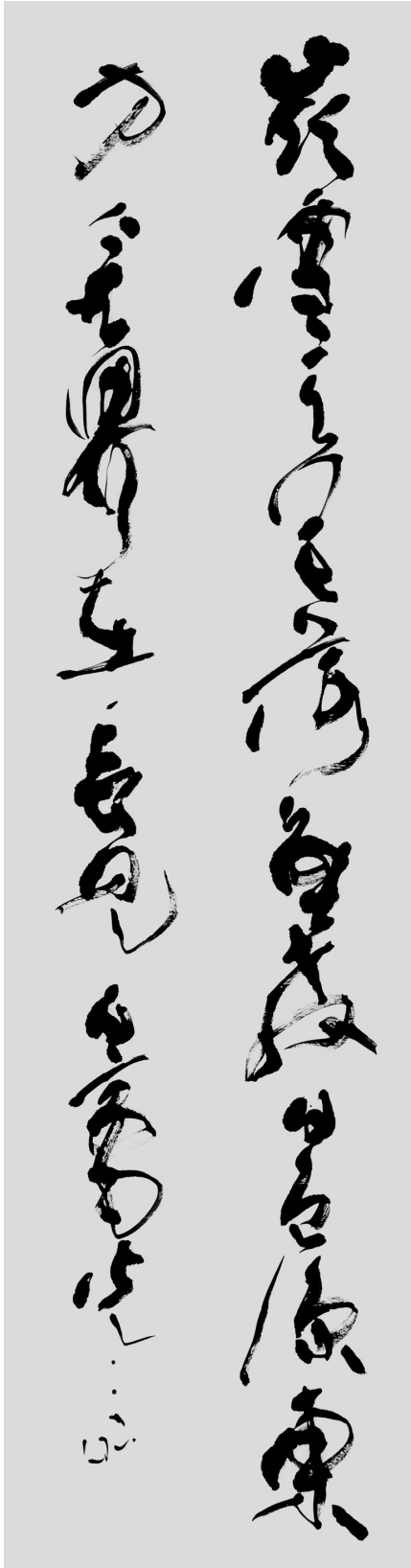
栄華に慢心せず困難に挫折するな（クレオブルス）

明石幸子書

一枕鳥聲殘夢裡　半窗花影獨吟中（陸　游）

早暁の殘夢を驚かして鳥は鳴き花は窓からその影をうつしている。

1月27日正午必着



嶺雪天花落　能教日色涼　東方金界在　長見白毫光　（新井白石）

叶　采園先生書

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

四海生二春風一（閻百詩）

嶺上千峰秀　江邊細草春
今逢二浣紗石一　不レ見二浣紗人一（王　軒）

四海春風を生ず。
嶺上千峰秀で　江邊細草の春
今浣紗の石に逢うも　浣紗の人を見ず

世の中が春風の中にいる如くである。
この詩は昔、越に生れて呉に獻ぜられた美人が郷里にありたる時に腰をかけたという石をよんだものである。

別二至弘上人一（厳　維）

最稱弘偃少　早歳草茅居
年老從二僧律一　生知解二佛書一
衲衣求二壞帛一　野飯拾二春蔬一
章句無レ求レ斷　時中學有レ餘

至弘上人に別る　厳　維
最も称す　弘偃少と　早歳　草茅の居
年老いて　僧律に従い　生知　仏書を解す
衲衣　壞帛を求め　野飯　春蔬を拾う
章句　断を求むること無く　時中　学余り有り

花ひとつ　片枝に留むる　玉蘭の　我が視野にして　煙霞はてなし　（北原　白秋）

半紙部規定課題Ａ

1月27日正午必着

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題Ａ（楷書）と課題Ｂ（四体の中より一書体選択）の二点を出品のこと。

半紙部規定課題Ｂ

1月27日正午必着

行書

草書

隷書

行草書

明石春浦先生書

客中　于武陵

楚人歌二竹枝一
游子涙沾レ衣
異國久爲レ客
寒宵頻夢レ歸
一封書未レ返
千樹葉皆飛
南過二洞庭水一
更應二消息稀一

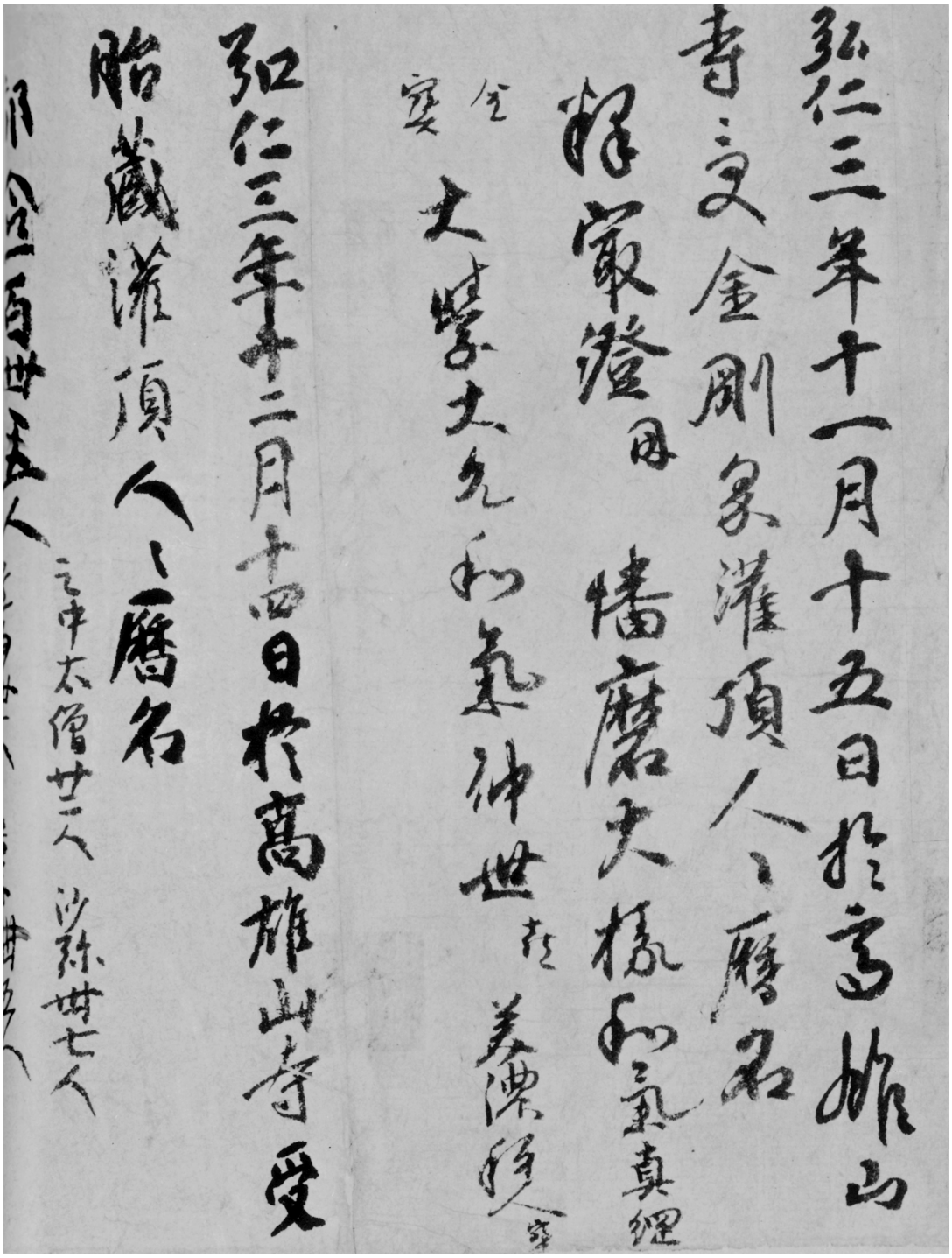
客中　于武陵

楚人　竹枝を歌い
遊子　涙　衣を沾す
異国　久しく客と為り
寒宵　頻りに帰るを夢む
一封の書　未だ返らざるに
千樹　葉皆な飛ぶ
南のかた洞庭の水を過ぐれば
更に応に消息稀なるべし

（出典）
朝日新聞社刊
「三体詩」下より

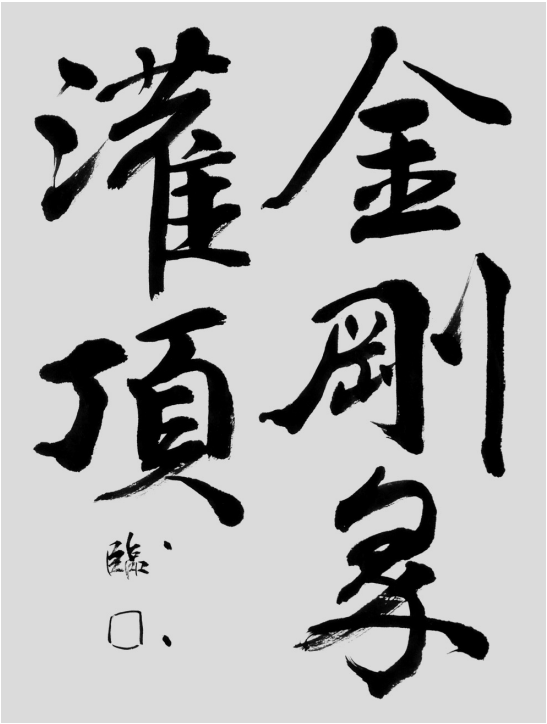
ここ楚の地の人々が竹枝を歌うのをきけば　さすらいのこの身、涙はこぼれて衣をぬらす
異郷にながく旅寓し　寒い夜、しきりに故郷に帰る夢をみる
一通の手紙を送ったが、返事も来ないうちに　数知れぬ木々の葉はすっかり飛び散ってしまった
これより南へ向かい、洞庭湖を過ぎて行けば　故郷のたよりはいっそう稀になるにちがいない

条幅部半紙部臨書課題

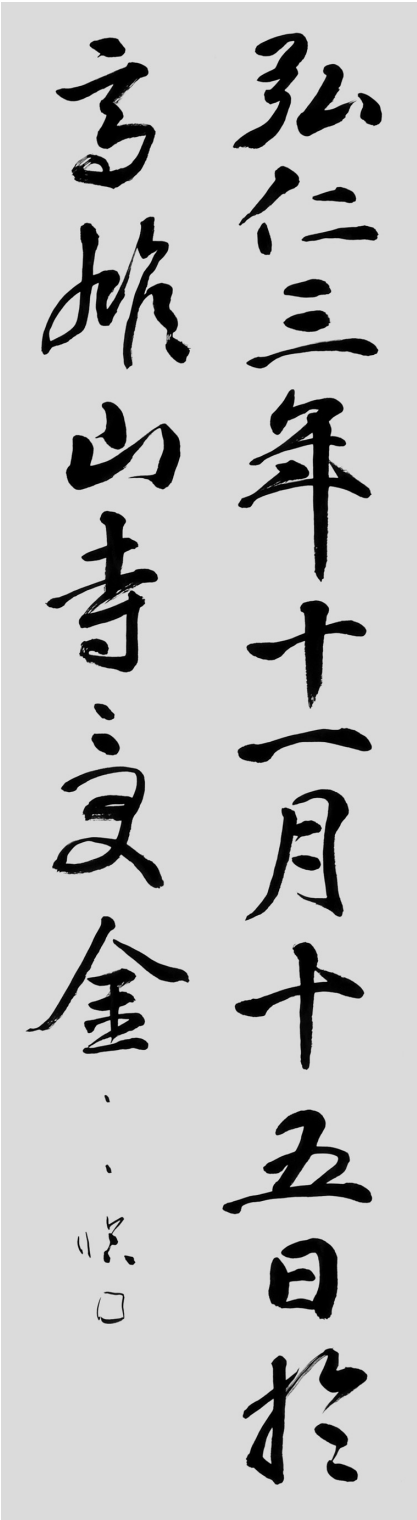


弘仁三年十一月十五日。於高雄山寺受金剛界灌頂人々暦名／釋最澄因　播磨大掾和氣眞綱／金寶　大學大允和氣仲世　喜　美濃種人　寶／弘仁三年十二月十四日。於高雄山寺受／胎藏灌頂人々暦名。／（都合一百卌五人）之中。太僧廿二人。沙彌卌七人。

条幅部半紙部臨書参考



金剛界灌頂



弘仁三年十一月十五日。於高雄山寺受金

平安 空海・灌頂記（かんじょうき）

空海が弘仁三年（八一二）及び四年に高雄山寺（神護寺）において灌頂を授けた僧及び俗人の名を列記したもので、巻子本一巻から成る。

この記録は一度に書かれたものではなく、三十日から八十日を隔てて三度またはそれ以上をかけて書かれたと言われている。したがって、書風も少しずつ違っている。

空海の書は中国留学によって唐人からの影響を強く受けたと言われ、特に顔真卿に心酔したとされる。

この灌頂記は記録として書されたものであるため、あちらこちらに訂正箇所が見られる卒意の書である。字形は円筆にして向勢で、点画太く筆力の充実した空海の書の魅力を味わうことができる。

※灌頂…密教で阿闍梨より法を受ける時の儀式。

（春濤）

1月27日正午必着

教育部毛筆

雨宮春聲先生書

達磨（だるま）　中学一年

菅井松雲先生書

瑞雲（ずいうん）　中学二三年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

榎戸春龍先生書

絵（え）　馬（ま）　小学五年

横川春川先生書

参（さん）　拝（ばい）　小学六年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

1月27日正午必着

藤田幸春先生書

玉（たま）　水（みず）　小学三年

細谷春誠先生書

年（ねん）　始（し）　小学四年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

明石幸子書

た　い　　小学一年・幼年

森戸春濤書

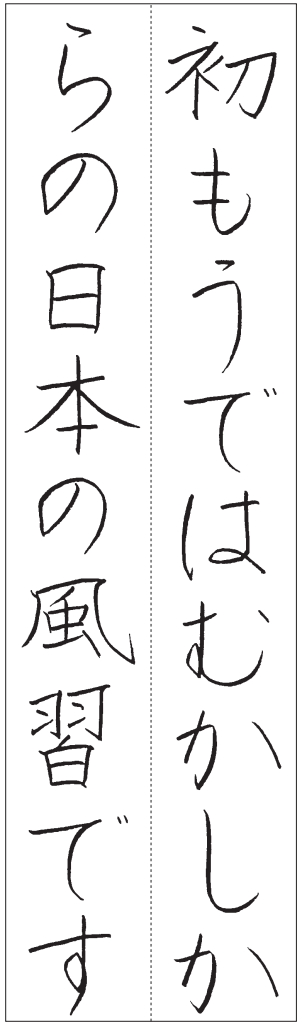
元（がん）　日（じつ）　　小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

1月27日正午必着

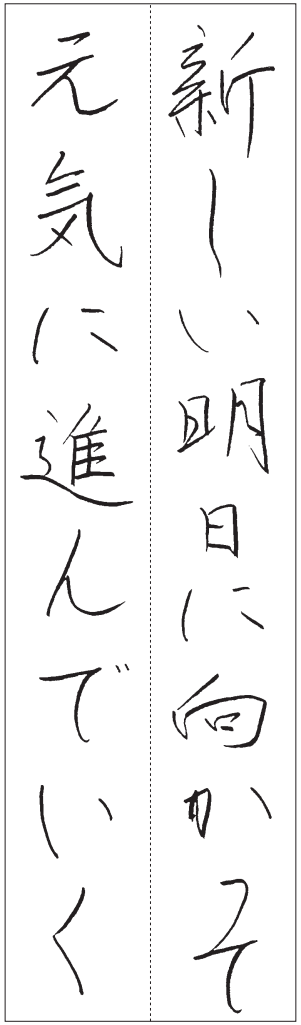
教育部硬筆

ペン字部

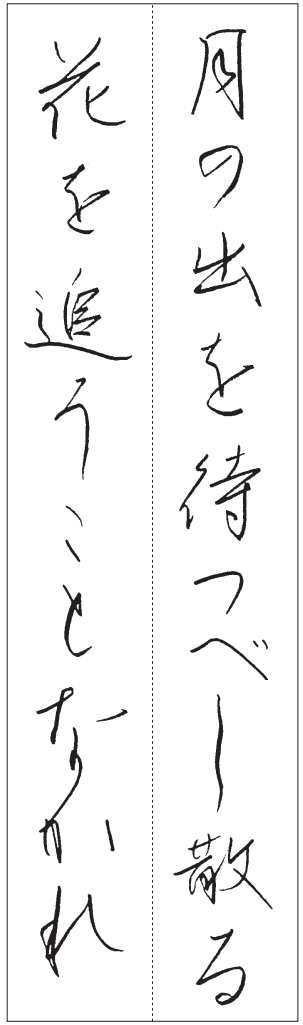


小学五年

小学六年

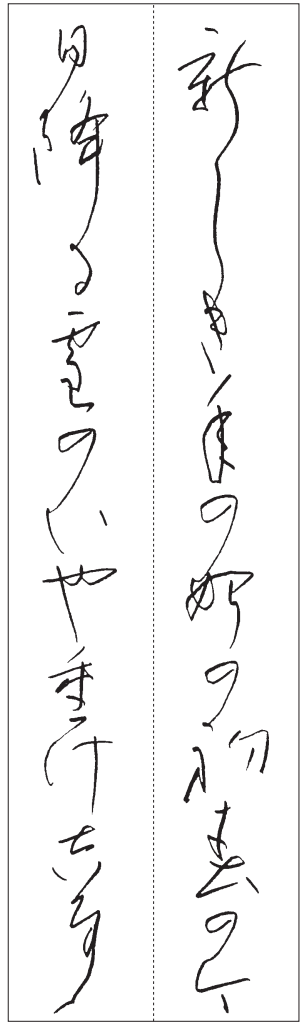


中　学



一般（級位）

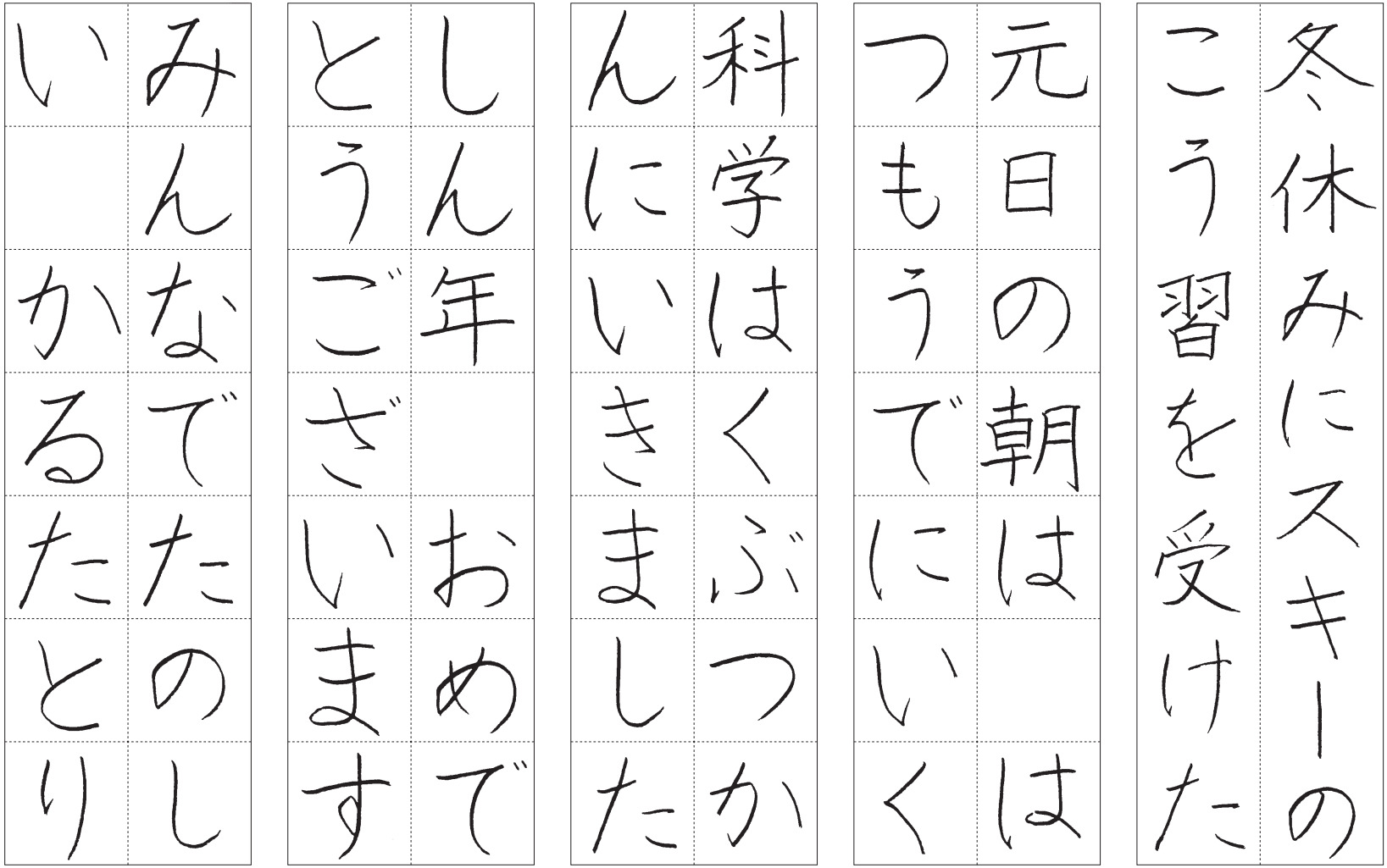
新しき年の始の初春の今日降る雪のいや重け吉事（大伴家持）



明石幸子書

一般（段位）

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆　中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。（ボールペン不可）
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



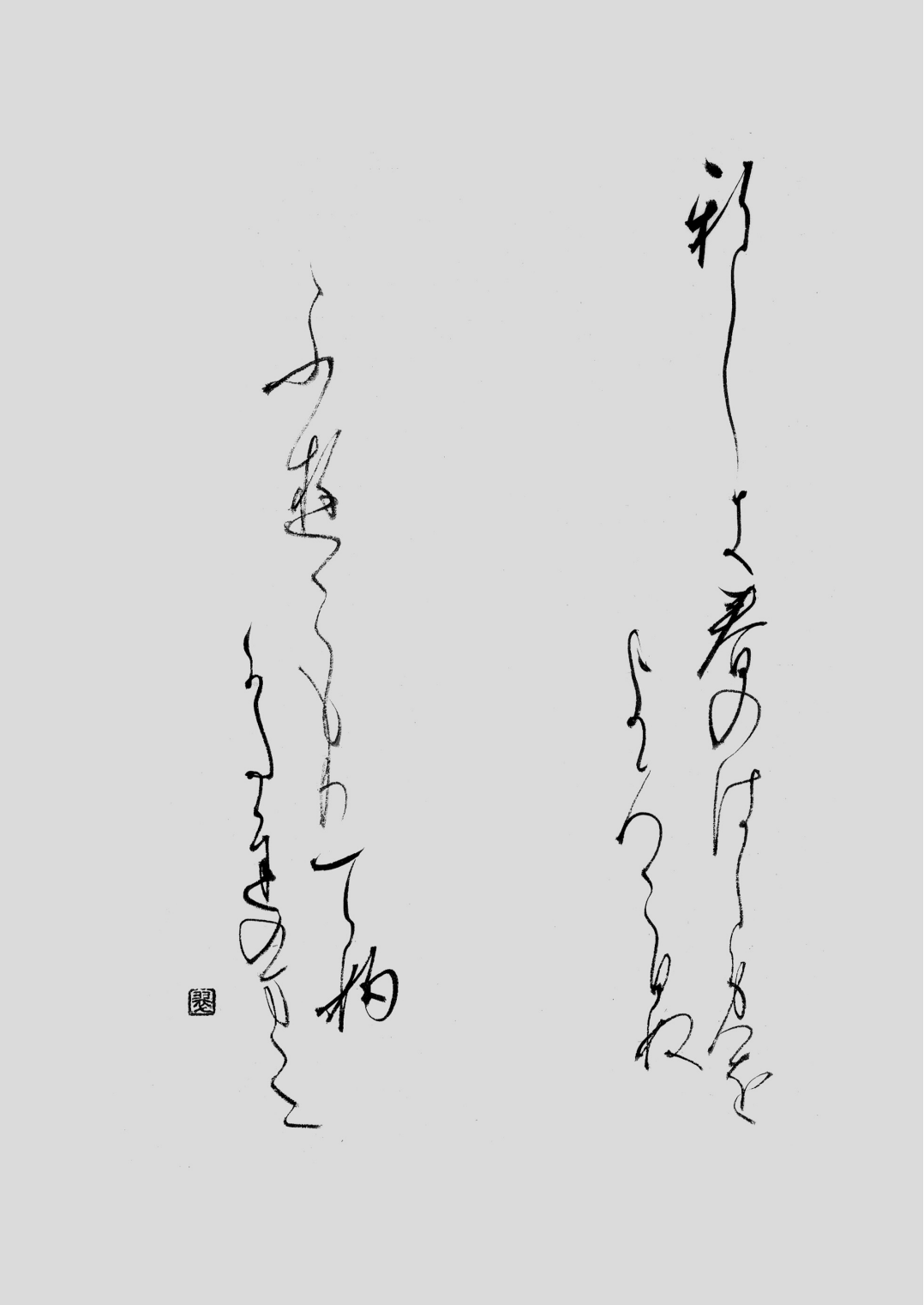
明石幸子書

幼　年　　小学一年　　小学二年　　小学三年　　小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆　中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。（ボールペン不可）
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

半紙部かな参考

1月27日正午必着



新しき　春のはしめを　よろこひぬ　ふゆこもりてふ　かたちのまゝに

支　免　日　遊　利　婦　可　多　遅　万　二

（与謝野晶子）

松永翠舟先生書